

No.74 友達と摩擦が起きる時

義高 互

グループ活動が課題の起点に

通級学級を担当していた時に体験通級を含めて42名の子供と学習をしました。

朝登校できなかつたり、教室に入れない時があったりという課題がある子供たちも少なくありませんでした。教室に入れなくなった時の記録が54回分ありました。

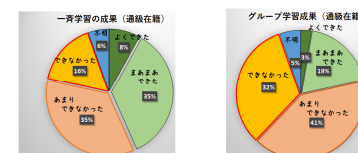
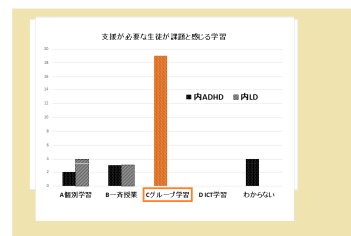
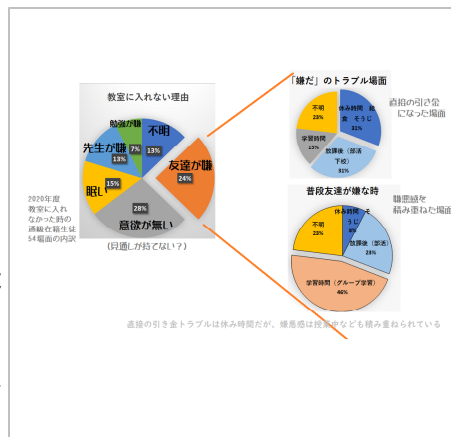
理由で多いのは活動の意欲が無い、これは見通しを持てない時なのだと思います。そして次に多いのは、友達が嫌になった時です。友達と上手に関われなかったと思われま

す。直接トラブルになった場面を聞くと「放課後」「給食休み時間」が多いです。これは我慢ができなくなった時なのだと思います。良く中学校では休み時間が危ないとか言われ、授業の合間でもトラブルが起きないように教師が教室にいるようしていますね。

でも見ていただきたいのはここからです。では「普段嫌だと思う時」を見てください。直接のトラブルの引き金は放課後・休み時間でしたが、普段嫌だと思った時間が一番多いのは「授業時間」でした。これはグループ学習の時だと思われま

す。通級では課題に関するアンケートもとっていました。課題と感じる学習形態はグループ学習でした。ごく限られた子供のアンケートですが、その原因があるはず

です。つまり最後の引き金になったのは、放課後や休み時間が多いのですが、友達と上手いかない基礎的な原因である嫌悪感を積み上げている時間は、グループ学習やペア学習、または集団で活動している時間帯なのです。本来気を付けるべきは引き金になる休み時間などではなく、



	一斉学習	グループ学習(ペア学習)
よくできた・まあまあできた	40%	22%
あまりできなかった	60%	78%

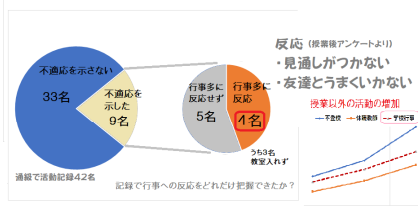
グループ学習(ペア学習)は1対1学習と異なり、課題の難易度が2倍になる可能性がある。通級在籍生は2倍の課題をこなす必要がある。通級在籍生は1対1学習でグループ学習・ペア学習が苦手な場合、通級の課題をこなす必要がある。通級在籍生は1対1学習でグループ学習・ペア学習が苦手な場合、通級の課題をこなす必要がある。



嫌悪感を積み上げているグループ活動や授業以外の集団で活動する行事活動なのかもしれません。アンケートからグループ学習が苦手なの
がわかっていたので、一斉学習と比較する聞き取り調査も行いました。11人37回にわたりました。結果はグラフの通りです。全ての時間では
ありませんが一斉学習よりもグループ学習に「できなかった」という不満や劣等感を感じてい
ます。特に通級で学習する場面緘黙や自閉的傾向で人とのコミュニケーションが苦手な子供は
グループ学習やペア学習で不満やストレスを抱えやすくなっているのがわかります。
その時の子供の意見の一部です。
専門業者の調査では全体的な視点ではグルー
プ学習が好きだという割合が高いです。ですが
視点を変えて割合は低くとも、自閉的な傾向の
子供がグループ学習などでストレスを感じてい
る可能性があると思われます。これを解消する
為には、教師に余裕があり、準備や調査を充分
行いながら共同学習する余裕と、適切な活用、
教師が授業に集中できる環境が必要だと思い
ます。

END

多い授業外活動に意欲を低下させた割合



情緒に支援が必要な子供のグループ学習
アンケートより



充分な準備と配慮、適切な共同学習の運用をするため
教師が授業に注力できる環境と余裕が必要